

問われる首相の責任

教育勅語暗唱の異様 森友学園 高く評価

国有地の格安払い下げを受けた学校法人「森友学園」（籠池泰典理事長）が経営する塚本幼稚園（大阪市淀川区）。園児に戦前の「教育勅語」を暗唱させる、運動会で園児に「安倍首相がんばれ！安保法制、国会通過よかったです」と宣誓させるなど、教育基本法違反の過激な政治教育が行われてきました。

「私の考えに非常に共鳴」

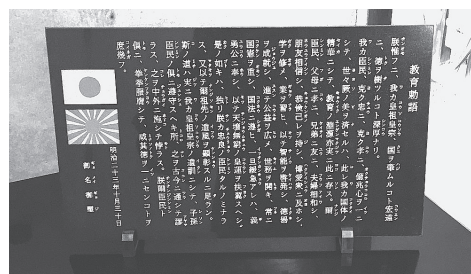
安倍首相夫人の昭恵さんは、同幼稚園を少なくとも3回訪問し講演。首相は国会でも当初、「妻から、森友学園の先生の教育に対する熱意はすばらしいと聞いている」「（籠池氏は）私の考え方に非常に共鳴している」（2月17日、衆院予算委）と持ち上げてきました。安倍首相の道義的責任は免れません。

小学校でも暗唱

「安倍小学校」 籠池氏は「教育勅語」を、新設する小学校でも暗唱させると言っています。この小学校＝瑞穂の國記念小學院は当初、「安倍晋三記念小学校」と命名して寄付金集め。名誉校長には安倍首相夫人の昭恵さんが就任していました（2月24日辞任）。



国会追及される安倍首相



塚本幼稚園の玄関には教育勅語

日本共産党

安倍首相

「コントロールされてる」程遠く

折り目

福島原発事故6年

ひしめく汚染水タンク



汚染水タンクは増えるばかりの福島第1原発。（右から）1号機、2号機、3号機、4号機（「しんぶん赤旗」チャーター機から）

原発再稼働やめよ

福島原発事故から6年。いまだに8万人以上が避難生活。「収束」とは程遠い状況です。

汚染水は日々約200トﾝが新たに発生し、建屋地下にたまった汚染水を含めると、総量は100万トﾝを超えます。「状況はコントロールされている」という安倍首相の言葉は、でたらめです。

「ゼロの日本」決断を

再稼働反対は、どんな世論調査でも5～6割。2年近い「稼働

原発ゼロ」（2013年9月～15年8月）の体験を通じて、日本社会は原発なしでやっていけることが明らかになりました。

破たんした原発再稼働路線はきっぱり中止を。「原発ゼロの日本」に本格的に踏み出し、この決断と一体に再生可能エネルギーの飛躍的普及をはかるべきです。

日本共産党

近畿民報

2017年3月 No.3 (第270号)
発行／日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp